

特別委員会の中間報告(要旨)

今臨時会において、交通網・都市基盤整備調査特別委員会、待機児童・子どもの貧困対策調査特別委員会、災害・オウム対策調査特別委員会及びエリアデザイン調査特別委員会が中間報告を行いました。

交通網・都市基盤整備調査特別委員会

本特別委員会は、交通網の整備及び誘致促進並びに都市基盤整備に関する調査研究を進めてきました。

都市交通施策について

区総合交通計画全体の見直しに合わせ、バス事業者との協議を重ね、バス路線網整備、公共交通空白地域解消を進めていくことが求められます。

北綾瀬駅整備について

都心方面への直通運行のための駅改良工事完成までに、可能な改善案を検討する短期計画、地元住民とまちづくり計画や用途地域、交通環境改善に関して検討する長期計画からなる駅周辺交通環境改善計画については、進捗を見守る必要があります。

竹ノ塚駅付近の鉄道高架化及び駅路線下利用について

鉄道事業者との連携、国や都の協力を得て早期完成を目指すことに加え、着実かつ円滑な事業の進捗に向けた国庫補助金等の財源確保のほか、ホームドア設置、駅前広場や街路整備、駅高架下利用等について鉄道事業者と協議し、区民生活に資する

鉄道路線網の強化等について

地下鉄8号線区内延伸が実現するよう、交通政策審議会の答申に示された事業性確保に必要な沿線開発に取り組みとともに、早期実現に向けたPR活動等を強化し、地域の機運醸成を図る必要があります。

また、日暮里・舎人ライナーの通勤時混雑緩和策として、都知事に対し「日暮里・舎人ライナーの輸送サービスの改善を求める意見書」を提出しました。

本特別委員会は、鉄道及びバス路線網の誘致・拡充等の活動を推進しつつ、都市基盤の整備充実に向けて、引き続き調査研究を続けていく必要があります。



待機児童・子どもの貧困対策調査特別委員会

本特別委員会は、「待機児童対策」「子どもの貧困対策の推進」に関することについて調査研究を進めてきました。

待機児童対策について

保育定員の拡大を図り、保育の情報発信を充実させることにより、待機児童解消に努めてきました。待機児童ゼロを目指し、区全体でバランスの良い施設整

備を進めていく必要があります。保育コンシェルジュの充実、ホームページ・SNSを活用した情報発信など、利用者に適した施設を結び付けており、今後もニーズに合わせた確かな支援が求められます。

また、家庭的保育事業での給食提供について、さらなる検討を進めていく必要があります。

さらに、保育士の人材確保が重要であり、制度の積極的な周知や待遇改善に向けたさらなる支援が求められます。



本会議の様子

子どもの貧困対策について

加えて、どの教育・保育施設に通っていても一定レベルの教育・保育を受けることができる「質」の確保が望まれます。

子どもの貧困対策について

全庁横断的に取り組む施策や事業の全体像を「未来へつなぐあだちプロジェクト」として策定、着実な施策の前進が見られます。「子どもの健康・生活実態調査」を継続実施し、調査

結果を同プロジェクトに反映していくとともに、評価方法を短期的評価と中長期的評価に分け、平成30年度を目標に行政評価との統合を図るなど、プロジェクトにおける推進体制が整備されてきています。

本特別委員会は、子どもたちが健やかに生まれ育つ環境を整備するとともに、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、引き続き調査研究を続けていく必要があります。

災害・オウム対策調査特別委員会

本特別委員会は、災害・放射能・オウム真理教(アレフ)対策等に関することについて調査研究を進めてきました。

災害対策について

他の自治体や民間企業、関係機関等との災害時協定や覚書の締結を推進し、避難所利用や、物資・医療救護など協力体制のさらなる強化に努めています。

自助・共助・公助が一体となった複合的な施策や取り組みが今後も求められます。

地域防災計画について

区が掲げる減災目標「死者をなくす」「区民生活の早期復興」の達成のため、女性の参画拡大に加え、高齢者や障がい者等に配慮した防災対策が推進されることを要望しています。

オウム(アレフ)対策について

係争中であつた事件については、いずれも棄却され、区の正当性が認められましたが、新たに訴状が提出され、引き続き、勝訴に向けた万全な対策を講じていく必要があります。

今後も、「オウム(アレフ)

断固反対!」の姿勢を崩すことなく、区民・議員・区が一丸となって、毅然とした姿勢で臨まなければなりません。

放射線対策について

区の定めた指標値以上の数値を確認した施設における低減対策を実施し、再々測定の結果、すべての地点で区の指標値を下回っていることを確認しました。

一方、区民の放射線に対する不安は完全には解消されておらず、放射能健康診断への助成や放射線測定器の貸し出し、学校・保育園給食の放射性物質検査について、区民や委員から要望が出されています。

本特別委員会は、さらに議論を重ね、引き続き調査研究を続けていく必要があります。



エリアデザイン調査特別委員会

本特別委員会は、エリアデザインの推進等に関することについて調査研究を進めてきました。

各地域のエリアデザインについて

千住エリアは、さらなる大学連携を進め、シティプロモーションの中心として、区のイメージアップを図る必要があります。

綾瀬エリアは、図書貸出施設設置も含め、多くの地域住民の意向把握に努め、真に必要とされるエリアデザイン計画を早期に策定する必要があります。

六町エリアは、防犯活動拠点整備の実現、駅前区有地の核となる施設の検討を含めた再整備、文教大学開学を見据えた交通網の整備等、まちの強みを生かしたエリアデザインを推進していくことを要望します。

江北エリアは、大病院誘致を関連団体や関係自治体と綿密な調整を図りながら着実に進め、都営住宅建替等により創出される用地には、新たな魅力や活力を創出する施設を誘導し、区の新たな拠点となるまちづくりを展開していくことを求めます。

花畑エリアは、文教大学誘致が実現し、学生の安全な歩行導線を確認する人道橋整備に向けた草加市との協力的体制構築、交通網の整備、周辺地域の安全対策強化等を図る必要があります。

竹の塚エリアは、民間開発の動向を注視し、区の北の玄関として相応しい、駅の東西が一体となる回遊性の高いまちづくりを進めていくことを求めます。

西新井・梅島エリアは、西新井駅西口駅前広場および東西自由連絡通路の整備や公共施設整備の再編、西新井公園計画の再構築を検討し、地域のさらなる活性化を図る必要があります。

本特別委員会は、建設的な議論をより一層重ね、調査研究を続けていく必要があります。



会派役員紹介

足立区議会自由民主党

団 長 新井 ひでお
幹事長 古性 重則
副幹事長 たた 太郎

足立区議会公明党

団 長 たがた 直昭
幹事長 岡安 たかし
副幹事長 小泉 ひろし

日本共産党足立区議団

団 長 ぬかが 和子
幹事長 はたの 昭彦
副幹事長 浅子 けい子
同 針谷 みきお

足立区議会民進党

幹事長 おぐら 修平
副幹事長 米山 やすし

編集後記

5月31日の臨時会では、議長・副議長の選出をはじめ、各委員会委員等の議会構成が変わりました。

また、各会派役員の変更もあり、これに伴い、広報委員会も次のとおりの構成となりました。今後も、読みやすく、分かりやすい紙面づくりに努めて参りますので、よろしくお願いたします。

(議 長)	かねだ 正
(副 議 長)	長井まさのり
(議会運営委員長)	新井 ひでお
古性 重則	小泉 ひろし
ただ 太郎	ぬかが 和子
長澤 興祐	はたの 昭彦
たがた 直昭	おぐら 修平
岡安 たかし	